

**製品名: GRB2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86265**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:25 kDa; Observed MW:25 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GRB2
別名	ASH; Grb3-3; MST084; NCKAP2; MSTP084; EGFRBP-GRB2
遺伝子ID	2885
SwissProt ID	P62993
免疫原	ヒト GRB2 の合成ペプチド

**背景**

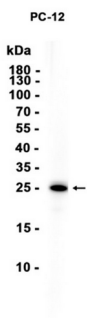
この遺伝子によってコードされるタンパク質は上皮成長因子受容体に結合し、1つのSH2ドメインと2つのSH3ドメインを有す

る。2つのSH3ドメインは他のタンパク質のプロリンリッチ領域との複合体形成を誘導し、SH2ドメインはチロシンリン酸化配列に結合する。この遺伝子は、シグナル伝達経路に関する C.elegans の Sem5 遺伝子と類似している。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2008年7月]

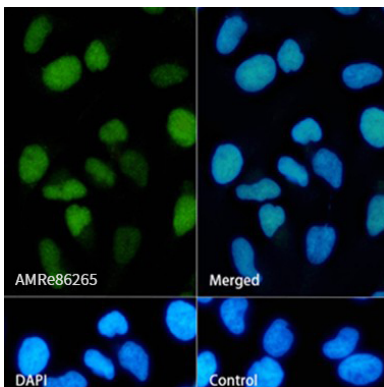
## 研究分野

-

## 画像データ



GRB2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した PC-12 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86265 で GRB2 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。